

平成 30年 11月 19日

時 分 受 理

受付順位

発言順位

発 言 通 告 書

藤枝市議会議長 西原明美 様

藤枝市議会議員 2番 増田克彦 ㊞

次のとおり通知します。

発言の種類

代表質問

 一般質問

緊急質問

1. 標 題

二酸化炭素排出量削減への取組について

答弁を求める者 (市長・担当部長)

(要旨・内容)

昨今の異常気象など、地球温暖化の影響は広く世界に出現しつつあり、それに対する中長期的対策の検討は世界の焦点の課題になっています。日本では2015年のパリ協定を受けて、政府が翌2016年に「地球温暖化対策計画」を決定しました。一方、藤枝市では以前より環境日本一を目指して藤枝市環境基本計画にのっとり、多岐にわたる施策がなされてきました。特にごみ排出量の削減につきましては、市民の協力もあり全国的に見ても大きな成果を上げていることは衆目の一致するところですが、また、H28年度以降は行政として、地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業、藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプランなどに取り組み、市庁舎や公共施設の二酸化炭素排出量削減に顕著な実績を上げています。ここでは藤枝市における地球温暖化対策、特に二酸化炭素排出量削減への現在の取組に関して質問いたします。

- (1) 藤枝市の公共施設からの二酸化炭素排出量のこれまでの経時的な傾向と、今後の削減への目標設定について伺います。関連してEMS(エネルギーマネジメントシステム)の効果、今後のEMS活用拡大について詳細を伺います。
- (2) 藤枝市の一般事業者からの二酸化炭素排出量のこれまでの経時的な傾向と、今後の削減への目標設定について伺います。特にエコアクション21などの市内事業者に対する取組と今後の展開について伺います。
- (3) 藤枝市の一般家庭からの二酸化炭素排出量のこれまでの経時的な傾向と、今後の削減への目標設定について伺います。家庭からの一人当たりの二酸化炭素排出量は現在、全国的にどのような順位にあるのでしょうか。また、エコファミリー宣言、環境マイレージの普及の現状と、環境行動実践への啓発活動について伺います。

2. 標 題	男女共同参画の推進について 答弁を求める者 (市長・担当部長)
<p>(要旨・内容)</p> <p>現在、世界的に男女共同参画社会の重要性が注目されているところですが、これに対する現状は日本においては女性閣僚が一人しかいないなどの事実を鑑みても、国際的に日本は大きく後れを取っています。足許を見ましても藤枝市議会議員では22名中女性議員は2名だけであり、この例をとってみても男女が平等に活躍しているとは言えないというのが現実です。</p> <p>お互いの人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現のために、藤枝市は様々な努力をしてきました。H30年からは『男女共同参画第3次行動計画』を策定し総合的な取組を進めているところです。しかし習慣や伝統などにより、男女共同参画の推進はなかなか進捗しないのが現状のようです。本質問では本市の男女共同参画への現在の取組と今後の方向性について伺います。</p> <p>(1)男女共同参画に対する市民意識調査の内容・結果とその評価を伺います。</p> <p>(2)男女共同参画地区推進委員による活動の詳細とその成果を伺います。</p> <p>(3)男女共同参画事業所の認定数の推移と、市内事業者に対する達成割合を伺います。</p> <p>(4)男女共同参画第3次行動計画における重点施策「女性活躍」への具体的取組とその方向性を伺います。</p>	

(※ 内容は詳細に記入してください。)